

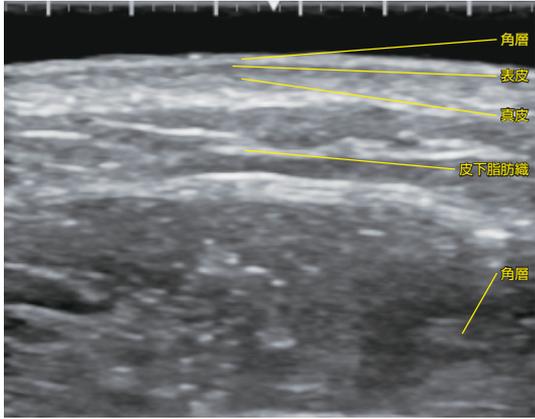
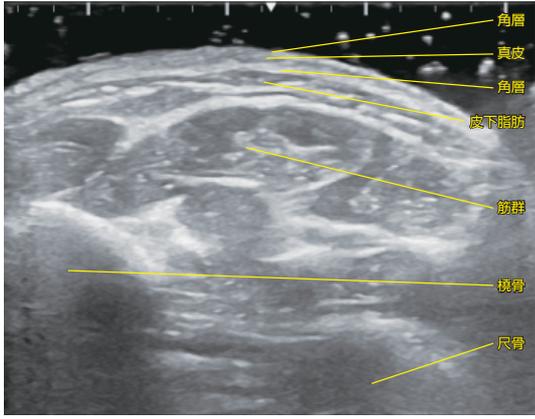
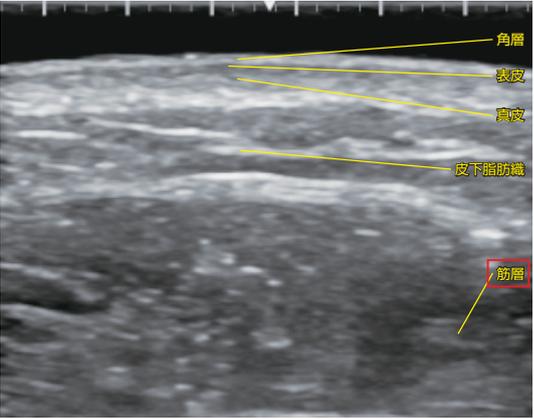
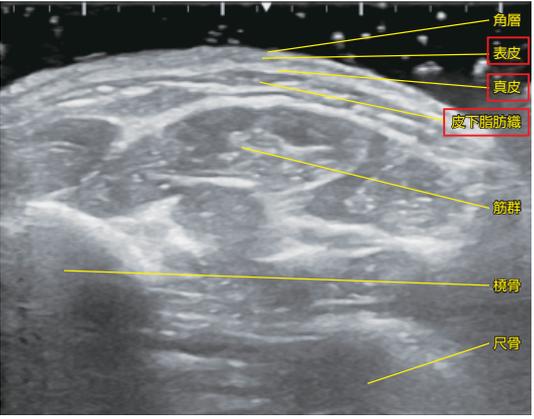
『皮膚超音波アトラス』

(第1刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

(2020年11月26日)

頁	該当箇所	誤	正
5	■病理組織による診断の裏付け	 <p>●HRUS(22MHz以上) 長所：角層、表皮、真皮、皮下脂肪織が分離され、それぞれを観察できる。 短所：5～10mmまでしか観察ができない。</p>  <p>●表在臓器超音波検査プローベ(8～16MHz) 長所：脂肪織、筋層、乳腺、甲状腺など表在臓器のほぼすべてを観察できる。 短所：皮膚科医が最も必要な表皮、真皮の観察ができない。</p>	 <p>●HRUS(22MHz以上) 長所：角層、表皮、真皮、皮下脂肪織が分離され、それぞれを観察できる。 短所：5～10mmまでしか観察ができない。</p>  <p>●表在臓器超音波検査プローベ(8～16MHz) 長所：脂肪織、筋層、乳腺、甲状腺など表在臓器のほぼすべてを観察できる。 短所：皮膚科医が最も必要な表皮、真皮の観察ができない。</p>
8	KEYWORD および上の画像のタイトル	角層化の低エコー領域	角層下の低エコー領域
12	KEYWORD	真皮は角層・表皮下の帯状の高エコー領域、毛包は下方に伸びる低エコー領域、脂腺は綿毛状の高エコー	顔面以外の皮下脂肪織は脂肪隔壁を高エコーとする蜂窩状の低エコー領域、顔面では脂肪隔壁が密になるため、乱反射をきたし高エコー
167	POINT の2行目	●角層は不全角化、鱗屑、痂皮。	●角層は不全角化、鱗屑、痂皮。